



慶應義塾大学ビジネス・スクール

オグラ金属株式会社 (A)

5

—楽しく継続する 5S—

会社概要

10

オグラ金属株式会社（以下、単に「オグラ金属」と呼ぶ）は、栃木県足利市にある金属加工会社である。資本金は9,900万円、2012年3月期の売上高は約83億円、従業員数は350名である。工場の近隣には、日本最古の学校として有名な足利学校や、大藤で有名なあしかがフラワーパーク、また伊萬里や柿右衛門・鍋島を所蔵する世界屈指の陶磁美術館である栗田美術館など、名所旧跡が点在し、渡良瀬川流域の自然環境豊かな地に本拠を構えている。

15

オグラ金属は、1938年11月、小倉鉄工所という社名で創業した。当時は、中島飛行機の金型製作を行う会社であった。その後、1960年頃からは、三洋電機株式会社の協力会社となり、自動販売機用のアイスラック・ドア等の生産を手掛け、また1970年からは自動車部品メーカーの株式会社ヨロズと取り引きを開始して、自動車向けのオイルパン・サスペンション部品・エアークリーナー・ドア部品などを手掛けてきた。1990年には、オグラグループ3社を合併し、現在のオグラ金属という社名に変更し、さらに1993年には、足利東部工業団地内に新工場を設立して、市内に点在していた4事業所を統合し、現在に至っている。

20

2013年現在、オグラ金属では、エアーフィルター・ストライカー・サスペンションなどの自動車関連部品が売上高の50%、パチスロの筐体やメタル交換機・両替機などのアミューズメント関連部品が27%、太陽光発電システムのコントローラーなどの弱電／環境関連部品が12%、

25

本ケースは、標記企業の全面的な協力を得て、慶應義塾大学大学院経営管理研究科の坂爪 裕教授が作成した。本ケースはクラス討議の資料として用いるためのもので、経営管理の良否あるいは関係者の判断の適否を示唆するものではない。作成に当たっては、湯沢秀樹「みんなの笑顔で感動の職場創り」IEレビュー、Vol.51 No.3、2010.8を参考にしている。インタビューに快く応じて頂いた、オグラ金属株式会社代表取締役社長の小倉勝興氏、取締役副社長の小倉乃里子氏、取締役常務の平塚博美氏、製造部生産技術グループ・グループリーダーの湯沢秀樹氏に心から感謝したい。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 坂爪 裕 (2013年4月作成)